

第 17 回 日本内分泌病理学会学術総会 「最優秀賞」を受賞



腫瘍・診断病理学講座大学院生
大坪竜太



腫瘍・診断病理学講座（原研病理）で研究を行っている大学院生 3 年大坪竜太が、2013 年 10 月 5 日、「甲状腺濾胞性腫瘍術前診断法としての p53-binding protein 1(53BP1)蛍光免疫染色の意義」の研究により、第 17 回 日本内分泌病理学会学術総会 最優秀賞を受賞しました。

同賞は第 17 回日本内分泌病理学会総会における内分泌病理学に関連する臨床的あるいは基礎的研究において、40 歳以下の研究者の中で最も優れた研究を対象に授与されるものです。

なお、授賞式は、同日に横浜市の関内荒井ホールにおいて行われました。